



松蔭会同窓会だより

志布志高校 PR 映像を制作

令和4年度の松蔭会事業として、志布志高校のPR映像を制作しました。

映像は、ドローンによる空撮、志布志高校の教室・体育館・校庭・松蔭会会館などを紹介する内容となっており、「志布志高校ファイト」をテーマに、生徒会役員・校長先生・松蔭会会長・野球部の皆さんなどたくさんの方に出演いただきました。

この作品は、YouTubeで発信しておりますので、どうぞ現在の志布志高校の様子や風景をご覧ください。こちらのQRコードで映像に繋がります。



事務局案内

- ◆ 松蔭会本部
松蔭会長 樺山 弘昭
鹿児島県志布志市志布志町安楽一七八
志布志高校内
☎099-147-10100
- ◆ 東京松蔭会
会長 中塚 優
〒339-0065
さいたま市岩槻市豊前二丁目34
☎048-758-14594
- ◆ 関西松蔭会
会長 佐藤 憲治
〒551-0001
大阪市旭区天宮三丁目3-1
☎06-195-13193
- ◆ 福岡松蔭会
会長 堂園 勝郎
〒819-0050
福岡市西区上山門二丁目01-5
☎092-891-16155
- ◆ 宮崎松蔭会
会長 中村 健一郎
〒880-0811
宮崎市永楽町一三七
☎0985-281-0877
- ◆ 串間松蔭会
会長 井手 明人
〒881-0011
串間市寺里一丁目一六番地三
☎0987-711-3457
- ◆ 鹿児島松蔭会
会長 場集田 稔
〒891-0275
鹿児島市桜ヶ丘五丁目二九一二
☎099-265-1387
- ◆ 鹿屋松蔭会
会長 中尾 高康
〒893-0004
鹿屋市寿七丁目三一九
☎0994-431-6106

令和5年度松蔭会第1回役員会開催

令和5年5月8日に令和5年度第1回の役員会を開催し、総会の件等について協議をしました。
 令和5年度の総会については、令和5年8月5日開催とし、内容につきましては、以下のとおり決定しました。会員の皆様の出席をお待ちしています。

令和5年度松蔭会総会のお知らせ

期日 令和5年8月5日(土)

- 9時 ～慰霊祭 志布志高校内(忘師・忘友の碑前にて)
- 10時 ～総会 志布志高校内教室
- 11時半～昼食会 松蔭会館(予定)

※今年度は、懇親会に代えて希望者による昼食会を開催いたします。
 ※今年度は、昭和58年卒の皆さんに当番期として総会の準備をしていただきます。



令和5年度松蔭会役員について

現在の役員体制については以下のとおりです。任期2年(令和3年～令和5年7月)

令和5年度 松蔭会役員			学校事務局		
役職	氏名	適用			
会長	樺山 弘昭	有明地域代表・S53第30卒	学校長	松崎 浩隆	令和4年度～
副会長	久徳 博文	大崎地域代表・S49第26卒	教頭	平田千代子	令和3年度～
	上原 登	松山地域代表・S50第27卒	事務長	市成 玲子	令和5年度～
	内村くみ子	女性代表・S50第27卒	事務局	大倉 史子 向段 武志 福里 光弘	令和4年度～ 令和4年度～ 令和5年度～
	木村 裕子	女性代表・S50第27卒			
	二見いすず	女性代表・S50第27卒			
	武石 裕二	志布志地域代表・S52第29卒	当番期	岡崎 康治	昭和58年卒
監事	若松 茂富	松山地域代表・S54第31卒	"	若松 俊二	"
	上村 雅彦	大崎地域代表・S55第32卒	"	西山 裕幸	"
	又木 隆	志布志地域代表・S48第25卒			
	坂元 健二	志布志地域代表・S51第28卒			

松蔭会LINE(ライン)公式アカウント

携帯スマホに情報が送信されてくるLINE公式アカウントのサービスをはじめました。
 身近な情報を定期的に配信することで、会員から親しまれる松蔭会を目指します。
 QRコードを読み込んで「ともだち登録」お願いします。



学校の近況報告

志布志高等学校 校長
松崎 浩隆



松蔭会の皆様方には、平素より本校の教育活動の推進に、物心両面から温かいご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて母校は、今年度創立114年目を迎え、1年生107人、2年生87人、3年生86人の計280人でスタートしました。新入生が5年ぶりに三桁の大台を超え入学してくれたこと、大変嬉しく思っております。今後も、学校を取り巻く地域の方々に、学校の魅力や元気を継続して発信していければと思っています。

さて、令和4年度の後輩たちの近況をお伝えします。まず、この春の国公立大学の合格者数ですが、九大1、熊大1、宮大2、鹿大8等合計20（現役18、既卒2）で、5年ぶりに20人の大台にのった他、鹿児島県警や大隅曾於地区消防組合（女性初）にも決まるなど、多くの狭き門を突破する活躍をみせてくれました。

また、部活動への加入率は85%超で、儉素剛健の精神を引き継ぎ、文武両道を体現しようと頑張っています。中でも、水泳部の1年生女子の生徒が100m背泳ぎで県大会を勝ち抜き、全九州新人大会出場を果たしてくれました。

新型コロナウイルス感染症終息がなかなか見通せない状況ですが、生徒は校訓「叡志剛」、教育指針「Create Your Future」を胸に、不断の努力を重ねております。

今後とも松蔭会の皆様方には、母校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会の益々のご発展と皆様方のご活躍を祈念申し上げ、令和5年度のご挨拶とさせていただきます。

リーダー論について

松蔭会会長
樺山 弘昭



先日、志布志高校で開催された「高校生との意見交換会」に参加しました。

意見交換会のテーマは、「あなたはリーダーになりたいと思いますか？」というものでした。

質問に対する高校生13名の回答は、リーダーになりたいが3名、リーダーになりたくないが10名という結果でありました。そして、その理由について、それぞれの立場から、次のような意見が出されました。

リーダーになりたい人の理由としては、「人のためになることをしたい」「好きなことだったらリーダーもできると思う」という意見でした。

そして、逆に、リーダーになりたくない人の理由としては、「自分自身がリーダーとしての資質があるとは思わない」「私はリーダーではなく、サポーターでいたい」「自分からリーダーになろうとは思わないが、誰もしなければなりません。」という色々な意見が出されました。

この回答結果について、「リーダーになりたい人が3名とは少ないなあ」と感じていたところでしたが、高校生の率直な意見を聞く中で、「自分からはリーダーとしての手は挙げないが、手を挙げる気持ちは持っている。」というのが、素直な気持ちで、単に、消極的というわけではなく、「みんなに協力していく気持ちは持っている」ということであり、それでも十分だと感じました。自分自身を振り返ったときに、高校生の時にリーダー論など全く考えもしなかったし、今の現役高校生はしっかりしているなあと改めて感心した次第であります。

高校生の皆さんは、これから、成長されていく中で、自分がリーダーになったり、サポートに回ったり、いろいろな出来事や役割に遭遇すると思います。ぜひ、本日議論した「みんなで協力していくこと」を大事にしていきたいと思っております。

そして、私たち大人もその手本になるように、色々な地域社会で協力していきましょう。

志布志高校松蔭会入会式開催

令和 5 年 2 月 27 日（月）に志布志高校を卒業する 3 年生 91 名の松蔭会への入会式が開催されました。当日は、松蔭会会長の歓迎のあいさつの後、卒業生代表者から新入会員の宣言がありました。また、記念品の贈呈や松蔭会特別表彰も行われました。卒業する皆さんの輝く未来を応援します。



令和 4 年度卒業式開催

令和 5 年 2 月 28 日（火）に第 75 回卒業式が行われました。今年は在校生も出席することができ、保護者と一緒に 91 人の卒業生を送り出すことができました。

卒業式では各クラスの代表者に卒業証書が授与され、その後、各教室で担任からひとりひとりに卒業証書が手渡され、クラスメイトや保護者にそれぞれ感謝の気持ちやこれまでの思いを述べていました。卒業おめでとうございます！



令和 5 年度がスタート 新たに 107 人が入学しました

令和 5 年 4 月 7 日（金）に鹿児島県立志布志高等学校の第 78 回入学式が挙行されました。当日は、入学許可を受け新入生代表の宣誓があり、在校生有志が校歌を歌って新入生を歓迎しました。新入生は、1 組 36 名、2 組 36 名、3 組 35 名の合計 107 名で、5 年振りに 100 名以上の入学生となりました。新入生の活躍・成長を祈念いたします。



県下一周駅伝応援 蔵満先生がんばれ!!

令和5年2月21日(火)は、県下一周駅伝の大会4日目が開催されました。志布志高校前を走る8区に、本校教諭の蔵満先生が出走され、全校生徒で応援しました。生徒たちは先生の頑張っている姿に、一生懸命声援を送ってくれました。



生徒会オリエンテーション・部活動紹介

令和5年4月12日(水)の午後、新入生向けに生徒会オリエンテーション・部活動紹介が行われました。生徒会から学校生活について説明があった後、各部活動の生徒代表が、工夫を凝らして発表を行いました。新入生の皆さん、ぜひ部活動へ入部して、充実した高校生活にしましょう!



音楽部ウェルカムコンサート

令和5年4月13日(木)の昼食時間に、音楽部吹奏楽団による新入生歓迎のウェルカムコンサートが中庭で行われました。多くの生徒が見に来ており、天気も良くて楽しい午後の一時になりました。



第6回志曾戦(志布志高校・曾於高校スポーツ交歓会)

令和5年5月2日(火)に第6回志曾戦が2年ぶりに行われました。当日は、天気にも恵まれ、午前には志布志高校のグラウンドと体育館でサッカーとバスケットボールが行われました。午後は有明総合体育館と球場にバスで移動して、男子バレーボール、バドミントン、弓道、野球が行われ、生徒は各競技の応援でおいに盛り上がりました。



卒業生に聞く「志」インタビュー

こころざし

松蔭会では、毎年、8月の第1土曜日に総会及び懇親会を開催しておりますが、その担当を当番期の方々にお願いしております。当番期の順番は、丁度還暦を迎える前の年になります。係の仕事を通じて、それぞれの還暦同窓会へ向けてのきっかけづくりになればとも考えております。そこで、当番期を迎えられ、地元で活躍している方にインタビューをしていきます。

第4回志インタビューは、昭和58年卒の岡崎康治さんです

Q 出身地、お名前、卒業年をお聞かせください？

A 志布志市有明中出身の岡崎康治と申します。
昭和58年卒業です。

Q 当時の卒業生は、何人くらいだったでしょうか？

A 7クラス、300人を少し超えていたと思います。

Q 高校時代の思い出をお聞かせください。

A 鹿児島県で開催された、全国高校総体にソフトボール部で出場して優勝できたことです。当時、志布志高校は修学旅行が無かったですが、部活でいろんなところに遠征に行くことができ良い思い出となっています。

Q 同窓会などはありますか？

A 全体的な同窓会は50歳のときに行いました。当時の先生方をはじめ、100人くらいが出席して、懐かしい話で大いに盛り上がりました。

Q 現在のお仕事は？

A 市役所で働いています。3月まではデジタル化の推進等に取り組んでいましたが、今年の4月からは教育委員会で仕事をしています。

Q お仕事や周りでのコロナ禍の影響等何かありましたらお聞かせください。

A コロナの感染拡大は、市内の経済や市民の行動、価値観などあらゆる面に波及して大きな変化をもたらしたと思います。市役所でも対面での会議等がほとんどなくなり、Web会議が非常に多くなったところですが、今年はお釈迦祭りも4年ぶりに開催され、このまま脱コロナ禍に向かってほしいと願っています。

Q なにかPRがありましたらどうぞ？

A 志布志市は、地方創生や人口減少における税収対策として、ふるさと納税にも積極的に取り組んでいます。個人・企業を問わずふるさと納税にご協力をお願いします。

Q これからの目標がありましたらお聞かせください。

A 孫と将来キャッチボールをすることを目標に、今は体力維持に努めています。

Q 大事にされていること・人生訓やモットーがありましたら？

A 特にはないですが、心に残っている言葉に、プロ野球の監督などをされた野村克也氏の言葉で「努力に即効性はない。でも努力は裏切らない。」という言葉です。
大抵の人は、努力してすぐに結果を求めてしまい継続することを諦めてしまいがちですが、結果はじわじわ出てくるもので、要は努力を続けることが大事であるという言葉です。

Q 現役高校生にメッセージをお願いします。

A 高校時代は、なにかと悩み多き時期だと思います。悩みを共有できるような一生つきあえる友達との出会いを大切に、あの時にやってあげれば良かったと後悔しないように、いろんな事にチャレンジしてください。



■お便り紹介（第3回）

昭和30年（第7回）卒 池口 恵観
（旧 鮫島正純）

高野山真言宗清浄心院住職

「同窓会だより」を、懐かしく読みました。

あの時代が、とりわけ印象に残っているのは、青春という人生が輝く時期だったからでありましょう。しかし、それだけではなく戦時下という非日常の世界の中で生きていたからだだと、このごろ、昔を振り返って、胸にしみます。

私は昭和三〇年、第七回の卒業生です。誕生したのは、昭和十一年、二・二六事件が起きて、日本が戦争への道を取り出す頃でした。戦争がいいとか、悪いとか、そんな議論もなく、世は戦時色一色に染まっていく、そのような時勢に少年期・少女期を送ったのでした。

そんなことを強く思い出すのは、今年2月、ロシアがウクライナに侵攻したことによって、「戦争」という言葉が、突然に、私たちの生活の中にとびこんできたからであろうと思うのです。欧米を中心とした世論は、当然の事ながら侵攻したロシアを非難しています。

しかし、それだけでは、問題解決の糸口にならないのではないかとも思うのです。

たとえ「善がウクライナ」「悪がロシア」でも、政治的な見方をすれば、そうはならないのが現実です。

私は今回のウクライナ戦争に政治的な発言をすれば、極めて難しいことになるのだろうと認識しています。しかし極めれば戦争が是であることは決してありません。それを突き詰めて言えるのは宗教者しかいないと私は思うのです。政治家は国益を第一にした言動があります。

しかしながら国益を第一にしたそんな外交にこの戦争の解決が図れるのでしょうか。

そんな国益は別にして、互いに人間として、生きるものとして心の交流がなければ、今回の問題に解決は図れませんし、図れたとしても国益を第一とするならばきっと遺恨が残り、次の紛争への芽が残ると思うのです。

国益をまず抜きにして、人を殺すことや、物を破壊することは絶対にやってはいけないと無欲に、純粹に訴えられるのは、宗教者しかいないのではないかと私は思うのです。その原理を、どうしたら当事国の指導者にわかってもらえるだろうか。私は考え続け、祈っています。

どんな政治家にも、少年時代、青年時代の記憶はあります、そのなかで、純粹に思ったことは、「殺してはいけない」ということだったはずです。私たちが、戦争終結を体験して、そのことを実感したはずでした。その反省の上に立って、日本人はもう一度、今度こそ、よい国を造ろうと奮起したはずでした。

いま、私たちが出来ることは、記憶のバトンタッチであろうと思います。

家族を戦場に送ったまま、帰ってこないという体験をした方々は、その悲しみを、若い人達に伝えて祈ってほしいのです。亡くなった人たちは、家族だけではありません。心を許した友達もいるのです。たいせつな恩人もいたかもしれません。

つらい思いをしてはいけないと、教え伝えていきたいと願っています。

合掌



卒業&進路決定おめでとう!!

最後まで粘り強くチャレンジを重ねた今春卒業生の健闘を讃えます
(令和 5 年 3 月卒業生数 91 名)

(国立大学)

学校名	現 役	過年度卒
群馬大学		1
九州大学		1
福岡教育大学	1	
熊本大学	1	
大分大学	1	
宮崎大学	2	
鹿児島大学	8	
琉球大学	1	

(公立大学)

学校名	現 役	過年度卒
長崎県立大学	2	
宮崎公立大学	2	

(公立短期大学)

学校名	現 役	過年度卒
大分県立芸術文化	2	
鹿児島県立	3	

(私立大学)

学校名	現 役	過年度卒
駒 沢	1	1
順 天 堂		1
日 本	1	
大東文化	2	
文化学園	1	
拓 殖	1	
東 洋		1
びわこ成蹊スポーツ	1	
大阪学院	1	
大阪電気通信		1
同志社女子	1	
大阪体育	1	
甲 南	1	
岡山理科	1	
九州産業	7	
久 留 米	7	
久留米工業	4	
九州国際	1	
日本経済	2	
福 岡	4	
福岡工業	2	
日本文理	1	
別 府	1	
崇 城	3	
熊本学園	2	
宮崎国際	1	
鹿児島国際	15	
志 学 館	10	
鹿児島純心女子	2	
第一工科	1	

(私立短期大学)

学校名	現 役	過年度卒
福岡こども短期大学	1	
中村学園大学短期大学	1	
別府大学短期大学	1	
宮崎学園短期大学	1	
鹿児島女子短期大学	3	
第一幼児教育短期大学	1	

(医療系専門学校)

学校名	現 役	過年度卒
都城医療センター看護	3	
鹿屋市立鹿屋看護	2	
藤元メディカル医療	1	
鹿児島第一医療リハビリ	1	
仁心看護	1	
加治木看護専門学校	1	
宮崎ペットワールド	1	
東京医薬看護専門学校	1	
大阪府病院協会看護	1	

(就 職)

学校名	現 役	過年度卒
事 務	1	
保安 (公務員)	4	

■進路状況まとめ (人数は合格者数)

- ・国立大学 16 人
- ・私立大学 131 人
- ・私立短大 8 人
- ・専修学校 27 人
- ・公立大学 4 人
- ・公立短大 5 人
- ・準短大 1 人
- ・就 職 5 人

◆松蔭会事務局から◆

今回皆様のおかげで、松蔭会だより令和 5 年 6 月号を発行することができました。事務局では、全国の皆様からのお便りを募集しています。近況等や懐かしい話をお聞かせください。学校まで連絡ください。

(志布志高校 ☎ 099-472-0200)

今年度の総会については、懇親会の開催についても検討しましたが、協議の結果、昼食会方式による懇談会とさせていただきます。来年度は、115 周年の記念総会として講演会や懇親会も計画していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

